



検査センター職員を順次紹介していくコーナーです。私たちは「顔の見える検査センター」を目指しています。先生方のご意見・ご感想をぜひお聞かせ下さい。

♥ 109人目



日々を振り返って

検査センターに入所して 5 か月が経ちました。私の部署では、請け負った検査に関するデータ入力を正確かつ迅速に処理しなければいけません。また、集配さんと営業さんが持ち帰った検体や、病院から直接依頼される追加検査を技師さんたちに繋ぐという大切な役割も担っているので、その責任の重さを日々強く感じています。

医療業界やキーパンチャーという職種は初めてでしたので、覚えなければならぬことが多く、同時に仕事のスピードも上げていかなければいけません。さらに、入所する前にはブランクがあったため、仕事に慣れるまで本当に大変でした。それでも日々業務を果たして行くことができたのは指導担当だった主任を始め、一緒になって問題に対処し、親切に教えてくださった部署の方たちのおかげです。皆さんに感謝したいと思います。

♣ 110人目



“接点”であること

舟入、江波地区中心に集配業務を担当しています。医療機関様を訪ねると、こんな場面によく遭遇します。

私が血液検体を受け取り持って帰ろうとする中で、検体をじっと見つめる患者さんの視線を感じます。『結果が心配だな…』『正確に検査してくれよ』『大切に扱ってよ』などといった心の声が聞こえてきそうです。だからこそ、(当たり前のことですが) 検体を大事に扱おうといつも意識しています。

また、受付付近にいた患者さんから「GOTが*,**もあつたのが今は良くなったんよ。」と集配員の私に声をかけてくれることもあります。自分の職場や自分の仕事が少しは役立っているのかなと嬉しく思う瞬間でもあります。

これからも、医療機関様と検査センターとをつなぐ“接点”としての役割を果たしていけたらと思っています。